

# 例会報告

第2731回例会報告議事録

日時 令和5年11月21日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それこそロータリー」

ゲスト：元Jリーガー・元サッカー日本代表  
近藤直也様

ビジター：なし

S.A.A.：村越会員

## 会長挨拶

倉持会長



本日は近藤直也様にお忙しい中お時間を取っていただきまして、ありがとうございます。この後、卓話をよろしく願いいたします。

今年度、社会奉仕委員会では子どもの事業を支援するという事で、冷凍庫を社会福祉協議会に寄贈しました。草の根フードバンクという所から運ぶ食材が残っていたのですが、今日の午前中に小野委員長と木村政照会員と流山まで食材を取りに行き、社会福祉協議会まで運搬しました。これで3つ事業がすべて終わったことをご報告いたします。本来であれば子ども食堂にたくさんの方が来られて食材を提供できればよかったです。都合がつかなかった方もいらっしゃるの、うちが寄贈した冷凍庫を通して寄付で集まった食材を各家庭に届けていただければと思っています。

幹事が欠席ですので1点幹事報告をいたします。

下総松戸自衛隊協力隊から会員募集の依頼が来ています。ご協力いただける方は事務局までお申し出ください。

## 親睦委員会報告

寺井委員長

本日の報告はありません。

## 出席委員会報告

川村委員長



25名(出席免除者含む) 出席(全員で33名) 出席率75.75%

業務による欠席：荒井会員、梶会員、上村(英)会員、関根会員、谷川会員、  
福武会員、前田会員、湯下会員

ZOOMによる出席：古谷野会員

## 社会奉仕委員会報告

小野委員長



先ほど会長からもありましたが、今年度の補助金を使った社会奉仕事業の最後の事業である、食料運搬事業を今日の午前中に行き、参りました。いつやろうかと相談していたのですが、冷凍食品が入るタイミングというのがあり、急遽連絡をいただいて今日、3人でやって参りました。皆さんにご報告するのが遅くなって申し訳ありませんでした。

草の根フードバンクに行き、食料をお預かりして、我孫子の冷凍庫に納めて来たのですが、これが我孫子の困窮家庭の子ども達の為になるのであれば非常にいい事業をやったのではないかと思います。

せっかく寄贈した冷凍庫なので今後も社会福祉協議会でしっかり活用していただければと思います。ちなみに、冷凍庫が故障しまして、すぐ交換してもらい今は順調に動いています。

最後に手賀沼清掃についてですが、12月3日に行われます。今週中に申し込まなければならないので是非、出欠の方のご連絡をよろしくお願いいたします。



今日はこのような貴重な機会をいただき、ありがとうございます。サッカー選手だった時の話や現在の話をさせていただきたいと思います。

1983年10月3日生まれで40歳になりました。出身は栃木県宇都宮市ですが、父親がつくば大学に勤めていたので幼少期に茨城県つくば市の方に移り、高校卒業までつくば市で過ごしました。

サッカーは小学校1年生、7歳の時に始めました。竹園高校に進学し、柏レイソルユースに入りながら高校に行っていました。

2002年に柏レイソル入団。14年間在籍し、2016年にジェフ千葉に移籍して3年間、そして東京ベイに入り2年間プレイをして、3年前の2020年に現役を引退しました。現在はサッカースクールやスポーツ教室をやっています。つくば市が地元なので農家さんと地域をつなぐこともやっていたりもします。

レイソル後援会のアンバサダーをやっていたり、柏市のサッカー業界の一員としてサポートしています。

2003年にワールドユース世界大会ベスト8に入りました。翌年にアテネオリンピックの日本代表にも選ばれて、アジア最終予選に出場しました。

2007年にオシム監督のオシムジャパンの代表候補に選出されました。2010年にJ2リーグ優勝、2011年にJ1優勝し、Jリーグのベスト11に選出されました。

2012年に天皇杯で優勝し、その年にザッケローニジャパン日本代表に選出され、1試合だけですが国際Aマッチに出場しました。その翌年にヤマザキ・ナビスコカップで優勝し、サッカースクールの立ち上げました。

国内大会460試合、21得点となっています。

現役の時のプレイを少し見ていただけたらと思います。

自分のパーソナリティである「負けず嫌い」と「強い信念を持っていた」というところについてお話ししてみたいと思います。勉強も重視していました。

少年時代～中学3年生までのエピソードですが、小学校1年生からサッカーを始めて、地域の少年団だったので全然チームとしては強くありませんでした。自分自身も地域の選抜にも全く選ばれないような少年でした。当時、身長も小さかったですが、サッカー選手になりたいという想いだけは人一倍あって、毎日1人で公園で朝練するような少年でした。小学校高学年になるとリフティング6000回くらいを1人でずっと公園でやっていました。

中学校に入っても強くありませんでしたが、中学時代も絶対にプロになると周りに言っていましたし、文集でもサッカー選手になると書いていたし、サッカー選手になるという信念は持っていました。

中学3年生の秋に受けた柏レイソルのユースチームのセレクションに、300人くらいの応募で3人だけが合格する中、合格しました。当時、右足も左足も両方同じくらい蹴れるように自主練をしていて、ユースの監督を騙せるくらい左足のボールの扱いがうまく、当時、右利きとは言わずに合格しました。

レイソルユース時代ですが、高校は茨城県立竹園高校に入学しました。なかなかの進学校でしたが、柏に通わなければならなかったのが家から近い高校に行きたかったというのと、当時サッカーが強かった筑波大学に行きたいというのもあったので進学校の竹園高校に行きました。

サッカーの方は高校2年生の終わりまで低空飛行で試合には出られず、ベンチに入れるかどうかという選手だったのですが、高校3年生になる春休みに、たまたま優秀な選手が風邪だったり予定があったりでプロの練習に行けず監督から代わりに行けるかと連絡が来ました。こんなチャンスはないなと思い行きました。

その練習がひたすら攻撃と守備に分かれてやる練習で、守備は全然やったことなかったのですが守備をやれと言われて、なぜかその時ほぼすべて止めてしまう奇跡的なパフォーマンスを見せて、トップのコーチからセンターバックになれ、ポジション変えろと言われてました。

次の週からユースでもスタメンで試合に出て、それが高校3年生になった4月でした。

高校3年生の6月の関東大会で負けてしまったのですが、ユースの監督から「お前トップチームに内定決まったぞ」と言われ、実質、4、5、6月の3ヶ月で奇跡的にプロになることに決まりました。

当時は、自分で言うのもなんですが成績がすごく良くて、母親はプロ選手になることには反対していて大学に絶対行けとずっと言われていました。が、自分としてはプロになって活躍することが夢だったので、そこは譲りませんでした。プロになって3年以内に試合に出られなかったら大学に行くという約束をしてプロになることを許してもらいました。

2002年に柏レイソルに入団し、翌年に鹿島アントラーズ戦でデビューし約束を果たしました。その後、順風満帆で自分でも納得のいくサッカー人生を歩むのですが、2005年に靱帯を3本切るという大怪我をして全治1年でした。その後また復帰しても怪我を繰り返し、2007、8、9と3~4年間メンタル的にも苦しい時期を過ごしました。

もともと負けず嫌いな性格もあるので、自分が試合に出られないことで「俺の方が絶対できるのに、なんであいつが試合に出れるんだ」というような、自分以外の言い訳を作るような、そんな時期でした。そんなメンタルだと孤立してしまい、今、柏レイソルの監督をされていて、その当時コーチだった伊原さんが「このままだとサッカー人生終わるぞ。変わらないとまずいぞ」と声をかけてくれました。そこでどう変わっていかなければならないのか考え、自分に矢印を向けて練習に100%取り組むように変えました。その頃、結婚もしたので家族のために変わらなければならないということもありました。

変わったとしても監督の信頼がすぐに取り戻せるわけでもなく、干されている状態というか、2009年7月にセレッソ大阪からオファーがあって移籍しようとしていたのですが、今までの日本人の監督が解任されてネルシーニョ監督に変わり、残留を決意しました。最初の試合でスタメンにしてもらい、ネルシーニョ監督の信頼を勝ち得て、Jリーグのほぼ全ての試合に出て活躍をしました。

いろんな転機がありますが、試合に出てなかった期間も他の人よりも何倍も練習をして、きっちり準備をしていたからこそ、急に試合に出ても活躍できたのではないかと思います。

30代になりセカンドキャリアというところが出て来ます。当時、何人かで集まった時に昔のスタメンの誰々は何をやっているんだろうという話になりました。昔の日本代表が地方のサッカースクールで雇われコーチをしていると聞き、あの選手が雇われコーチ?と、その話が自分には衝撃的でした。雇われコーチが悪いというわけではないのですが、自分は自分でサッカースクールを作りたいと思い、現役の29歳の時にサッカースクールの会社を立ち上げました。当時、こんなことをやっている人はいませんでした。

2015年に柏レイソルの契約満了になりました。シーズン終了後に1枚の紙が選手全員に渡され、そこに来年の年棒が書いてあります。契約満了の選手は0と書いてあります。そういう選手をたくさん見て来ましたが、いざ自分が渡されて0と書いてあるとショックで、すごく泣いた記憶があります。

そこで代理人を通じて同じ千葉県ジェフ千葉に移籍して、キャプテンとして3年過ごしました。そこでも監督とうまく行かなかったりして東京ヴェルディに移籍しました。

サッカースクールを始めたことで知らないことがたくさんあったと思い、空いている時間を使って経営者の方に会いに行ってお話を聞いたりしていました。東京ヴェルディ時代はヴェルディのスポンサーをやっていた企業のインターンを練習が終わって午後にやらせてもらったりもしました。

37歳で引退しましたが、サッカーへの想いというところで言うと、最後のヴェルディ時代にサッカーを嫌いになってしまい引退を決意しました。今でもまだサッカーへの情熱が戻ってこないような状況ですが、またいつか柏レイソルなどのチームで貢献できることがあったらなとは思っています。

スクールは立ち上げ11年で、幼児から中学生まで300人くらい生徒さんが来てくれています。

地元、茨城県つくば市に対する想いがすごく強いので、スポーツ以外のところで自分みたいな

人間が貢献できる分野はないかと引退後考えていて、食に対してこだわりがあるので食の分野で何かないかと模索していました。

そんな中でブルーベリーがすごく好きで、栄養価も高く、つくば市がブルーベリーの有名な産地ということもあり、いろんなブルーベリー農家さんに会いに行き話を聞きました。

新しい形のポット栽培でブルーベリーをやっている農家の方と知り合いました、その方も異業種から農業に参入した方で、広告業界で広告デザインをされていたのですが、ブルーベリー農園を始めている方でした。異業種から農業に参入した2人だったので、いろんな農家さんの話を聞くということを始めました。それが2年くらい前です。

こだわりを持ってブルーベリーを作っているけれども世の中にあまり知られていないという農家さんが結構いらっしゃいました。そんな中で自分達が広める為に、知ってもらう為にできることとして、ワニナルプロジェクトという、農業と地域をつなげる活動を始めました。

ワニナルプロジェクトはフリーペーパーを作っていて、いろんな農家さんを紹介したりしています。それ以外にはマルシェのようなものを開いていて、今週も土曜日につくば市の研究学園駅前公園でワニナルフェスを開催します。そういうフェスでは農家さんと直接話をしながら野菜が買えます。

小さい時から自分で決めてきましたし、自分で体験しないとわからないなと感じていたので一番大事にしているのは行動することです。行動することでしか何も生まれないなと思っています。現役中も引退後も行動しながら色々なことを進めています。

昨年つくば市に体幹トレーニングのスポーツ教室を開設し、来年7月には流山おおたか森の公園にオープンさせる予定です。

その他に茨城で小学生の少年サッカー大会を主催したりしています。サッカー大会では参加費を取るのですが、参加費を取ることで参加しづらい少年団がけっこうあったので、私が主催する大会では参加費は取らず、でもメダルや景品等をしっかりもらえるようにしています。DSCアカデミーカップといって、現在2回目を先日行いました。

その他にも選手のマネジメントをやりたくて、夏休みに自分の教え子のスペイン留学のサポートもやりました。レイソル後援会、ストリートサッカーのアンバサダー等、柏市サッカー協会の理事としてサッカーの発展のために活動しています。

一日一生という言葉があります。2005年に柏レイソルで監督をされていた早野宏史さんという監督がよくこの言葉を使っていて、一日を一生だと思って一日一日を精一杯生きろ、という意味です。この言葉を今でもかみしめながら一日一日を大切に生きています。

引退後に私のようにスクールを立ち上げたりだとかする人は珍しいと思うのですが、やりたいことはすべてやりたいなと思っています。また、自分の経験で役に立つことがあれば何でも引き受けたいなと思っています。

今後いろいろやっていくと思うのですが、家が柏なのでぜひ我孫子の皆様と何かお役に立てることがあれば言っていただけたらなと思っています。

ご静聴ありがとうございました。



本日も例会に参加いただき、ありがとうございました。以上で例会を終了いたします。

## ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
倉持会長	本日も例会に参加いただきありがとうございました。	1,000円
今井会員	近藤直也さん、卓話ありがとうございました。	1,000円
小野会員	近藤様、人生を考えさせられる卓話をありがとうございました。	1,000円
上村(文)会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
川村会員	近藤さん本日は卓話ありがとうございました。	1,000円
木村(政)会員	近藤さん、ありがとうございました。	1,000円
木村(隆)会員	近藤直也様、卓話 有難うございました。	1,000円
小池会員	近藤直也様 卓話ありがとうございました。	1,000円
寺井会員	近藤様 卓話ありがとうございました。	1,000円
日暮会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
藤本会員	卓話ありがとうございました。 マー君カレンダーありがとうございます。	1,000円
村越会員	近藤様 卓話ありがとうございました。	1,000円
柳田会員	近藤様 卓話ありがとうございました。	1,000円
依田会員	近藤様 卓話ありがとうございました。 木村さん カレンダーありがとうございます。	1,000円
米田会員	近藤様 卓話ありがとうございました。	1,000円
	当日計	15,000円
	今期累計	272,900円

今週の表紙「志賀直哉邸跡」千葉県我孫子市緑2丁目7番

白樺派の文豪、志賀直哉が8年間暮らしていた邸宅の跡です。志賀は大正4年（1915年）に友人の柳宗悦が住む我孫子に移住し、大正12年（1923年）までここで過ごしました。「城の崎にて」「和解」「小僧の神様」「暗夜行路」等の名作はここで生まれました。

現在は茶室風の書齋が残るのみですが、すぐ隣に母屋の間取り図が実寸大に再現されています。平成23年に我孫子市の指定文化財になりました。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。